



強い道路をつくるための手入れ...

のべましたが、実際のどのよう
に事業が進められているか、
各分野ごとについての現況をのぞ
いて見ます。

在の改良済延長四六七料と合せて、全
延長の約二三%の整備ができて予定
です。

熊本日田線外一七路線、一〇一料の舗装
が完了しますと、既完成延長七五料を合
せて、一七六料に達し、その完成率は二
級国道の四二%には及びませんが、現在
県内舗装済延長一三二料に比し、一〇年
後には四四〇料と大きく異なります。こ
事業費も一八億六千万円の巨額に上り、
完成の上は産業上物資の輸送に又観光事
業に多大な効果をもたらすものと思われ
ます。

道路改良……★
一級国道(すなわち熊本鹿本
北村福岡県境から山鹿、熊本市
八代市、水俣市を結び鹿兒島
に至る県内を縦貫する最重要路線)は、
建設省直轄で工事が行われます。現在山
鹿市附近、熊本・宇土間、佐敷附近がそ
れぞれ施行されますが、昭和四十二年迄
には全線の改良を完了する予定です。前
期五カ年には福岡県山鹿間熊本・植木間
県南部の三太郎峠に改良重点がかかるこ
とと思われまます。

道路舗装……★
道路の舗装は、改良工事と平行して、
逐次進められています。昭和三十三年
一カ年間の県内の施行延長は、二二料余
も延びています。
いま舗装工事の十カ年計画を見ま
す。

道路改良……★
一級国道は道路の改良工事と同様に舗
装も建設省直轄事業として進められ、昭
和四十二年には全延長一四七料が舗装
されることとなります。

橋梁整備……★
県内の橋梁三、〇三一橋中、木造橋は
一、一五橋を数え、総数の三分の一以
上を占めています。交通量の増大と車輛
の大型化は、橋梁の耐久力を大そう弱め
又木橋の三〇%が荷重の制限
や交通禁止を余儀なくされて
います。このような状況から
橋梁整備五カ年計画にもと
づいて、国費の補助による架け替
えと、県費だけにによるもの
によって、永久橋への整備を
計画しています。その内容を
みますと、一級国道では道路
の改良などと同じく建設省の
直轄で、一五六橋全部の整備
を終る計画になっています。

橋梁整備……★
二級国道では、橋長一〇米
以上のものが対象となって、

(4) については国が三十二年に道路整備
一〇カ年計画を立てましたが、その内三
十三年度より三十七年度までの前期の五
カ年計画が閣議決定を見て実動に入っ
ています。

この計画に沿った、県の道路整備十カ
年計画は、総額一八九億円の予算をもつ
て一級国道前線の改良、舗装を完了す
る予定です。二級国道以下は、最重要路線
の整備をする。殊に橋梁はほとんど全部
を永久橋に架け替える計画となっていま
す。

この内前期五カ年で一〇カ年計画の約
五〇%の工事が進められることになっ
ています。

以上、道路対策についてのあらましを

二七の木橋がほとんど永久橋に架換えら
れる予定です。

地方道の場合は、橋長二〇米、面積が
一〇〇平方メートル以上の橋梁が対象となり、
五カ年間で主要地方道の橋梁は其の九五
%が、一〇カ年間で全橋梁が整備され

ることになります。

久橋になり、数では五三%の延長比で
は八〇%に及ぶわけです。



ロードローラーで道路の基礎固めが行われる……★

熊本の民有林の面積は、四十万二千ヘクタール、
蓄積二千四百七十立方メートル、その中で将来林道によ
り開発される面積は約四割の十六万四千ヘクタール、
蓄積にして千二百五十立方メートルあります。この未開
発林を開発するためには、将来約九百五十路線、延長
にして二千二百余の林道が必要となります。現
在では既設の林道が約六百二十路線、延長一千九十
余あり、あつて林産物の搬出に役かかっております。

十六カ年の才月と一億二千五百万円の
巨費を投じて延長三十に及ぶ林道が三
十四年春に貫通して五月二十四日晴
れの開通式が行われました。五家荘一帯
は九州の屋根といわれ、その地域一万五
千ヘクタール、森林蓄積は二十四万立
方メートルという大きな資源を有する原始林地
帯です。

戦時中に荒廃した道路を補修するた
めに、戦後一三年間いろいろと努力して
いますが、自動車交通の急速な発達につ
れて道路の管理は、容易に追いつきませ
ん。砂利道の維持管理は火山灰土質とい
う本県の特長事情に加えて、他の事業と
ちがって一度補修をしても、一方で路面
は破損され、常に手を入れなければなら
ないところから思いのほか経費を要す
るもので、予算にも限度があり、なか
か思う様にゆきません。



長年の夢が実現
希望もつ森林開発

開設された念願の五家荘林道

五家荘林道の貫通によって、約一万余
ヘクタールの森林資源が開発され、さら
に森林の総合的経営により、日本有数の
林業地五家荘として将来の飛躍が約束さ
れています。

貫通した五家荘林道……★

県内で最も大き
い林道は、八代郡
泉村地内の五家荘
一帯の原始林開発
のために開設され
た五家荘環状基幹
線林道です。

この実例でも分るように将来益々林道
を開発して本県の林道をいよいよ発展さ
せたいものです。
(経営課)

九州横断道路……★

これは長崎から雲仙、三角、熊本、阿
蘇郡一の宮を経て外輪山と九重山を越え